

は し が き

この報告書は、令和2年度学校保健統計調査確報の青森県分をとりまとめたものです。

学校保健統計調査（基幹統計調査）は、学校保健安全法により毎年定期的に行われている健康診断の結果に基づき、幼児、児童及び生徒の発育や健康状態を明らかにし、学校保健行政のための基礎資料を得ることを目的として、文部科学省が昭和23年度から毎年度実施しているものです。

本書を学校保健に関する基礎的資料としてだけでなく、本県の重要課題の一つである平均寿命・健康寿命の延伸に向けて、子どもの頃からの健康的な生活習慣づくりの一助とするなど、学校保健、地域福祉・医療の関係者や一般の方々にも広く活用していただければ幸いです。

また、本調査の実施にあたり、御回答いただいた各幼稚園、学校と御協力いただいた関係各位に対しまして、厚くお礼申し上げます。

令和3年8月

青森県企画政策部長

東 直 樹

目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果の概要	
1 発育状態	
(1) 身長	2
(2) 体重	4
(3) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率	6
(参考) 世代間比較	9
ア 親の世代(30年前)との身長・体重との比較	9
イ 子世代・親の世代・祖父母世代との比較	11
ウ 17歳の12年間の発育量の世代間比較	12
2 健康状態	
(1) 疾病・異常の被患率等の状況	14
(2) 主な疾病・異常等の推移	15
ア 裸眼視力 1.0 未満の者	16
イ むし歯(う歯)	17
ウ ぜん息	19
エ アトピー性皮膚炎	20
III 統計表	
1 年齢別 身長・体重の平均値及び標準偏差(県・全国)	21
2 疾病・異常被患率等(県)	22
3 年齢別 平均身長の推移(昭和23年度～令和2年度)【青森県分】	24
4 年齢別 平均体重の推移(昭和23年度～令和2年度)【青森県分】	26
5 年齢別 肥満傾向児の出現率の推移(平成18年度～令和2年度)【青森県分】	28
6 年齢別 痩身傾向児の出現率の推移(平成18年度～令和2年度)【青森県分】	29
< 参 考 >	

令和2年度学校保健統計調査確報(全国)より抜粋